

□ 要請番号 (JL32420A30)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
パラグアイ	C103 野菜栽培	20～45 歳のみ	個別	交替 2代目	2年	・ 2020/2 ・ 2020/3 ・ 2021/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

経済・社会開発企画庁

2) 配属機関名 (日本語)

コロネル・ボガド市役所

3) 任地 (イタプア県コロネル・ボガド市) JICA事務所の所在地 (アスンシオン市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 5.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

イタプア県は家畜飼育数や農産物生産量が多く、食料基地として国内外の流通に大きく貢献している。任地はパラグアイ伝統食の一つであるチパ(チーズパン)の名産地としても知られており、市内には30地区約1300戸の小規模農家が就農している。同市役所では現在100名の職員が在籍し、小規模農家支援、道路整備、水道、年金、生活保護、医療、教育、文化、スポーツ等の様々な行政サービスを行っている。2019年度予算は約1,735千ドル。JV(野菜栽培)が2019年9月まで活動した。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先では2名の技術者が、小規模農家支援として、主に営農指導や市営種苗場の種苗配付等の活動を行っている。現地では主力産品としてトマト、ピーマン、玉ねぎ等の露地栽培が行われているが、近年では酸性化が進行した耕作地が散見され、生産性向上の懸念材料となっており、配属先では土壌改良指導が喫緊の課題となっている。そのため緑肥や苦土石灰を効果的に活用した土壌改良を図り、生産性向上を図ろうとしているが、市役所の担当技師は、専門的な知識や技術が不足しており、知見を有する隊員の支援が必要として本要請に至った。なお、本案件はJICA技術協力プロジェクト「小農のための営農技術パッケージ開発プロジェクト(以下、「PPT」2015.4.～2019.3)」のフォローアップも期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

同僚とともに、以下活動を行う

1. 小規模農家を巡回し、耕作地の土壌状況を確認・把握する。
2. 緑肥や苦土石灰の効果的な活用方法についての研修会、勉強会を企画・実践する。
3. 営農技術パッケージを活用し、任地の気候・土壌に適した野菜生産技術の現地指導を補佐する。
4. 耕作地での現地指導を通して、同僚の指導力向上のための継続的な支援を行う。

※勤務時間:7:00～15:00

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

一般事務用品(机、いす、コピー機等)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

・ 農業生産部担当、男性(60代)、農業技師、職歴4年

活動対象者:

- ・生産者組合加入代表農家約60戸

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（男性） 備考：要望団体の希望

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：要望団体の希望

[参考情報]：

- ・大学等での実習も実務経験に含む

任地での乗物利用の必要性

単車小型自動二輪免許が必要

【地域概況】

[気候]：（温暖湿潤気候） 気温：（0～40℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

配属先同僚等と農家を巡回して実地指導(勉強・研修会等)を行うため、現場経験を有する人材が求められる。
住居はホームステイ(または離れ)となる予定。